

予算決算委員会総務文教分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 日 時	令和8年9月8日(火) 9時30分開議 令和8年9月8日(火) 16時50分散会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	向井千尋座長、大内正博副座長、野々村康委員、隅田雅春委員、安井博幸委員、原田豊彦委員、上田英樹議長
4. 欠席議員	なし
6. 議事の経過 向井座長 挨拶 向井座長 開議宣告 9:30 開議 ■企画総務部 日程第1 議案第84号 令和8年度丹波篠山市一般会計補正予算(第3号) 【主な説明】 企画総務部説明 【主な質疑】 野々村委員 正職員の人件費につきまして減額をされているのですが、先ほどの説明では16名ということで、当初予算を計上された後、16名退職されたということだと思いますが、その退職理由の主なものをまず教えてくださいませんか。 企画総務部 当初予算計上後16名の退職ということで、さらにその内訳としましては、昨年度中の退職が13名、令和8年度に入ってから退職が3名となっております。退職理由につきましては、一概に申し上げるのは難しいところではありますが、メンタル不調による病気休暇を直接の原因として退職に至ったという職員は見られず、次の新しい自分のやりたいことがあるので、そちらのほうに、新たに歩んでいきたいという方もございますし、また結婚や出産を機に、退職を選択された職員もございます。もちろん中には、メンタル不調で病気休暇を取得していた職員もございますけれども、退職時点におきましては、復職をしていたという状況でございます。 野々村委員 それでは16名が想定外の退職になられていますが、部門に偏りは見られますか。教育関係の部署であったり総務系であったり、事業系であったりそのような部門で偏りは見られますか。 企画総務部 部門や分野によつての偏りというものは特に見られません。	

野々村委員	それでは正職員の人件費 7350 万ほど今回減額されるということの提案でございますが、この 16 人については、今年度中に途中採用で正職員の欠員について補充する考えがないのでしょうか。ただし、先ほど会計年度職員のところで若干増額がありましたので、緊急的な部分については会計年度職員で対応するが、年度途中で正職員を追加補充する考えがないので減額というように理解してよろしいでしょうか。
企画総務部	退職補充につきましては、正規職員での補充というものも考えておりまして、今回 10 月採用について、今現在採用事務のほうを進めておりますので、そちらのほうを差し引いた形での補正予算の積算ということになっております。
野々村委員	やはり業務を担っていただけるのは人だと思いますので、想定外の 16 の方が退職されたということにつきましては、令和 8 年の新年度予算等で、その辺の業務がきちんと執行できるっているのか確認をしていただきながら、予算の編成もしていただきたいと思います。もう 1 点だけ、育児休業に等に関する補正でここも減額になっておりまして、3100 万ほどの減額になっておりますが、企画総務部の説明だといろんな要素があると、例えば延長されたりして増減があるということだと思いますが、育休取得者の数を当初は何人、今回の補正では何人にされているか、その内容の説明を求めます。
企画総務部	当初予算での積算時の育休職員ですが、こちらは当初予算を積算した時点で既に育休の申請をしていたもの、また今後、育休を申請するということで事前に話を聞いていたものを計上しておりましたので、すぐに人数というのが出なくて、後刻報告させていただきます。今回 9 月補正ですが、当初予算計上後に延長でありますとか、また 2 月 3 月頃に、4 月からの育休を申請したいということで出てきた部分につきまして、新たに追加させていただいておりまして、現時点での育休を取得している職員は 18 名という形になりまして、内訳としては女性が 11 名、男性が 7 名という形になります。
野々村委員	育休の取得状況というのはやはり、子育て環境を考え、非常に重要なことだと思います。当初予算のときに何人見込んで、9 月補正での見込みが何人だった。その簡単な推移だけ、後で御報告していただきたいと思います。《後刻、資料配布》
安井委員	37 ページの地元就職促進費の 50 万円増額ですが、例えば高卒の方が何人、大卒の方が何人か分かりますか。
企画総務部	令和 8 年度の現在の申請状況ですが、49 名いらっしゃいまして、専門学校、

	短大、大卒が 20 名、高校卒業が 29 名という形になっております。
安井委員	最初に 5 万円で 1 年後に 5 万円ですが、今、最初に 5 万円を受けられる方が何人、もう 1 年後に 5 万円を受けられる方が何人になっていますか。
企画総務部	先ほど、8 年度 49 名と申しましたが、現時点での数字でして、今後の見込みも含めると、昨年度就職された方で就職後 1 年を経過した方が 26 名になります。これが昨年度の実績で 34 名分見込んでおりましたけれども、想定よりも 8 名少なくなって、40 万円を減額いたします。ただ、今年就職された方は 52 人ということで想定よりも、18 人多くなっておりまして、この分を 90 万円増額したいと考えております。差引き、50 万円の増ということになります。今後申請見込みも含めての数字でございます。
安井委員	地元就職ですが、どういう業種に就職されているのでしょうか。
企画総務部	現時点では、令和 8 年度就職された方の申込み状況で申しますと製造業も多いですがサービス業等もありますし病院等もございます。非常に幅広くなっていると思います。
野々村委員	14 ページの地域活性化センター助成金というものが不採択になったという説明を頂いたんですが、その理由っていうのは知らされていますか。
企画総務部	この不採択の理由については明かされておりません。厳正なる審査の結果ということで通知が参りました。
野々村委員	先ほどの説明ですと不採択なんですけども、その部分については地域等への影響があるのでふるさと基金でその部分については補填して、事業自身には影響ないというように理解してよろしいか。
企画総務部	はい。そのとおり御理解頂きたいと思います。
野々村委員	続いて 18 ページ、企画費の空き家活用事業については、県事業の随伴ということですが、これも事業を受けられる、市民の方、市内事業者さんがおられたら、これは大きなことになろうかと思います。先ほどの、地域活性化センター助成金の不採択だったのですが地域のために、ふるさと基金でその部分を補填して、事業に影響がないように判断されたというようにお聞きしましたが、空き家活用事業において、この補助金が、県も市も随伴の下、補助金なくしても事業者さんには影響がない、または申請がされていないというように理解してよろしいでしょうか説明を求めます。
企画総務部	この事業につきましては県の随伴がいるということで事業者にとっては最

大の金額を受けられる補助金ですが、県のほうで予算が決まっておりますして上限に達したということで受付は締め切られました。代わりに随伴なしの兵庫県の単独の空き家活用支援事業補助金というのがございまして、若干補助金額が下がりますが、そちらのほうを御紹介をさせていただいて申請をしていただいたということでございます。

野々村委員 説明がありました補助金は減額になったが、兵庫県の代替補助金で、その事業者についても事業計画を縮小するという対応可能ということで理解してよろしいですか。

企画総務部 はい、そのとおり御理解頂きたいと思います。

安井委員 今の件ですが、例えば空き家活用事業で 250 万減額ですが、兵庫県が止めても、市の 250 万円の予算でできないでしょうか。

企画総務部 これにつきましては、あくまでも県の随伴補助ということですので、これだけ市単独ですということはできないということになってございます。

■行政経営部

日程第 1 議案第 8 4 号 令和 8 年度丹波篠山市一般会計補正予算（第 3 号）

【主な説明】

行政経営部説明

【主な質疑】

隅田委員 今田の旧保育園跡地面積がどのくらいあるのかということと、既に購入を希望されるような要望等が出てきているのか、その辺り説明お願いしたいと思います。

行政経営部 土地の面積につきましては 7651.48 平米あります。地目は宅地となっております。建物は鉄骨造のスレート葺き平屋建て、延べ床面積が 506 平米となっております。昭和 47 年に建築となっております。あと、今までの経緯としましては、保育教育課のほうで管轄をしていますが、そこに民間の事業者さんから、活用の希望の打診が何件かあったということで、売却の公募をかけていきたいということで、今回、不動産鑑定業務を計上させていただきました。

上田議長 48 ページの諸支出金の基金費の中で、減債基金費、今回 1 億 5191 万 5000 円を積立てていただいております。減債基金について、私が思うところでは毎年度、計画的に積み立てる中で、臨時対策分等の流用をされて

いると思います。その中で将来の財政運営の健全化や積立金で、毎年度計画的なものですが、今回 1 億 5000 万円を積立てられたと思いますが、全体の推移についてお分かりでしたら教えてください。

行政経営部

今回、減債基金に積む分については、普通交付税の基準財政需要額として、将来の臨時財政対策債の償還のために交付されたものになります。この金額については、平成 17 年から平成 22 年の間に、臨時財政対策債を借入れた、その償還に充てるものです。実際令和 9 年度から令和 12 年度の償還に充てるものとして、交付税の中に算入されたものになるので、計画としては国が示すとおりに取り崩すこととなります。あと減債基金の残高については、当然決算を見て、そこに剰余金があれば、どんどん積み増していくことが理想ではありますが、どの基金を積立していくかというのは政策の考え方にもよると思うのですが、今は、財政持続的発展計画の中でも、財政調整基金残高を一定確保する目標を立てており、財政調整基金の積立を優先しておりますので、今は今回のような普通交付税措置以外で減債基金の積み増しは難しい現状ではあります。

野村委員

48 ページの地域振興基金費の 95 万 6000 円の減額について、先ほど旧丹南校の賃貸借契約に絡んで今回減額というような御説明があったかと思うんですが、これは賃貸借契約が減額に伴う影響と理解したらよろしいでしょうか。

行政経営部

平成 28 年 10 月 1 日に契約した賃貸借契約について、契約書の中で、令和 8 年 10 月分から変更をするということで、42 万 7000 円から 29 万 400 円に減額ということになっております。

野々村委員

契約の担当課は財政課ですか。

行政経営部

契約の担当は長寿福祉課になります。

野々村委員

6 ページですが借入れに関する利率について 4%を 5%に変えたということで説明頂いたんですが、この変更の根拠というのは、何か国や兵庫県が示したものに倣っているのか、丹波篠山市が独自にいろんな経済指標を読み取る中で、こういうような利率が必要だというように御判断されたのか、その 1%上げた根拠について説明をお願いいたします。

行政経営部

今回の利率については、財務省の貸付けの最新の利率、毎月公開されておりますが、そちらのほうを追っており、現在一般会計について借入れを行う最長の 30 年借入れで 3.8%となっておりまして、銀行借入れではそれよりも利率が少し高く設定されることとなっております。ですので令和 8 年度中の借入れについては、4%でちょっと厳しいと判断しまして 5%ということにしております。

野々村委員	それだと先ほど私が示しました国か県か市独自かということ市が独自にいろいろなデータを勘案して4%を5%の上限が必要だというように御判断頂いたというような理解でよろしいですか。
行政経営部	おっしゃられるとおりです。
野々村委員	9ページの市税の固定資産税について、1500万円の増額見込みだということで御説明頂きました。先ほど創造都市課のほうでも、市内の就職者数が増えているというような指標もあって、固定資産税これ1.4%の分ですからもとの金額にすると、ある程度まとまった投資が行われているのかなと。そういうように1500万円見積もられたというのは、どこか特定の事業所が大きな投資をされるのか、それとも全体的に上がりそうだっていうように御判断頂いているのか、製造業が好調で投資が大きくなってそうだとサービス業で、新しい建物とか用地の取得があるのでこれ1500万円ぐらい伸びそうだと、そういうような、1500万円の判断根拠になったものについて説明を求めます。
行政経営部	償却資産にかかる課税明細までは分析できていないのでどこが増えているかというのはわかりませんが、景気が上向いている関係で設備投資が増えている。もしくは製造業で新規の開業とかもございますが、先端設備とか過疎の関係とかで、課税免除によって減額になったりする関係で、通常であれば設備投資された翌年に反映するわけですが、そうではなくて全体的に投資が増えているかなってというような理解をしております。
野々村委員	今の説明ですと製造業に限定ではなく、サービス業とかほかの業種も含めて全体的に市内の固定資産税が上がろうとしているのか、それとも課税免除が切れたりする場合もありますとのことなので、見通しをもう一度御説明を求めます。
行政経営部	もちろん製造業について、最近工場が建設されていることもありますので製造業としても増えていることは間違いないと思います。ただ、償却資産のここ数年の流れを見ますと、コロナ禍からの回復基調により、製造業に限らず広い分野の業種で上昇しているという見方をしております。
安井委員	48ページの地域振興基金費のところの、丹南校のことですが、先ほど契約更改で、47万円から28万円になったということで、6割と随分減ったと思いますが、その辺りの根拠というかいきさつを説明願います。
行政経営部	こちらで把握している限りにはなりますが、今回の変更になった経緯としま

しては、賃貸借契約のなかで、10年で一旦見直すという条項があって、金額については、兵庫県からの買取り価格を基本に現在の減価償却の分を考慮して、金額を算出したと聞いております。

■学校教育部

日程第1 議案第84号 令和8年度丹波篠山市一般会計補正予算（第3号）

【主な説明】

学校教育部

【主な質疑】

隅田委員

42ページの地域クラブ運営補助金の66万3000円増加について、この新人戦では上位が見込まれるということでしたが、もう少し具体的にどのようなクラブが頑張ってくれておるのか、また上位のどのあたりまで見込めるのかそういう見込みについて教えていただきたい。

学校教育部

今回の中学校総合体育大会において、ホッケーが全国大会に出場しました。またソフトボール部も、全国大会に出場しています。それぞれホッケーは、全国大会でベスト8です。ソフトボール部は1回戦で負けてしまいましたが、どちらのチームも全国に出る力を持っています。新人戦においてもこの両チーム、新たな認定地域クラブの活躍が見込まれるため増額をするものです。

安井委員

5ページのバス借上のことですが、バスの確保が難しいということですが、この入札の場合は市内のバス事業者だけではなく、市外のバス事業者もされていますか。

学校教育部

市外も入っています。

■社会教育部

日程第1 議案第84号 令和8年度丹波篠山市一般会計補正予算（第3号）

【主な説明】

社会教育部

【主な質疑】

野々村委員

社会教育課さんへの提言として、45ページの1番下サギソウ保存会補助金。保存会が令和8年3月末で解散されて補助金を廃止し、これまでいろんな作業をしていただいた分については委託料とするというような説明だったと思いますが、サギソウ保存会はこれまでサギソウ保存のために御尽力頂いて、本当

	に手弁当で有志の方が市の財産を守るために活動していただいたと思います。 社会教育の場面というのは、こういうような任意の志の高い皆様によって支えられている部分がたくさんあるかと思います。これまでも広報紙で取上げて、そういうような皆さんの活動を市民に知っていただくとか、そういうようなことにも努めていただいていると思いますが、そういうような組織が今後できるだけ解散せずに、今後とも御活躍頂けますように、社会教育部といたしましても御支援をしていただいて存続できるよう、努めて頂きたいという要望です。
社会教育部	それぞれの団体活動が盛んに行われる丹波篠山市において、こういった高齢化等の理由に基づいて解散をされている団体が少なからずあるというのは認識しております。そういった団体について、行政として支援の手を差し伸べていきたいと考えています。
上田議長	四季の森の関係で人件費や運営費も含めて、機構改革によって中央公民館から交響ホールの方へ4月から異動になったという解釈でよろしいですか。
社会教育部	今おっしゃったとおりでございます。四季の森ホールの施設等はそのまま社会教育課ですが、舞台技術担当の3名につきましては、こちらの交響ホールの所属の職員になったということでございます。
上田議長	交響ホールの様々な運営と四季の森のホールの運営があると思いますが、一緒になって、メリットはどういうところか。一緒になって良かった点を教えていただきたいと思います。
社会教育部	メリットについては、いろいろありますが、例えばこれまで部署が異なっていましたので、お互いに人が足りなかったときに助け合ったりとかいうことはなかなか難しかったんですが、人が足りなかったときに助け合ったりということが、これから出来てくるかなと思っています。それと研修がいろんなところがありますが、そういったものも、これまで交響ホールがメインでやっていましたが、お互いに情報共有して技術の向上にもつながるというふうに思っております。
安井委員	交響ホールにはオペレータークラブっていうのがありますね。四季の森にはなかったと思いますが、四季の森と交響ホールが一体的となったことにより、四季の森にオペレータークラブが行くことはないということでしょうか。
社会教育部	四季の森でもオペレータークラブを持っていたのですが、昨年度、解散しま

したので、今のところは一定のプロの方が来ていただいています。オペレータークラブ自体の人数が減ってきて、今の交響ホール毎週土日にある舞台で出ただけなのが今のところ精いっぱいということですので、交響ホールのステージオペレータークラブさんが今のところ四季の森ホールのほうへヘルプに行くというところがちょっとできないところがございます。これからオペレータークラブの養成講座等もありますので、人数等を充実させながら、そういったことにも取り組んでいきたいと考えています。

■ こども未来部

日程第1 議案第84号 令和8年度丹波篠山市一般会計補正予算（第3号）

【主な説明】

こども未来部説明

【主な質疑】

安井委員 27 ページの工事請負費について、これ味間児童クラブの空調のことですが、見積りと比べて随分安価ですが、何でこのように安価になったのか、詳しく説明お願いできますか。

こども未来部 工事内容につきましては、当初予定していた内容と同様のものになっておりますが、当初予算要求に当たりまして、業者の見積りを参考として要求をさしていただいております。そして、その工事の執行に当たりましては、管財契約課において、設計書を作成してところ、設計額が 335 万 7200 円となりまして、落札額が、258 万 5000 円で落札されたことで、大きな差が生じました。今回、この当初予算計上に当たりまして、契約担当課との調整を十分にしておりますら、こういった、大きな差というものがなかったということで、反省をしております。今後、こういったことがないように、契約担当課とも十分に連携調整をしながら進めていきたいと考えております。

安井委員 今、最後に言われたように、予算と実際の金額が余りかけはなれないように、最初の予算要求のときに、実際に近いものでしていただきますようお願いしたいと思います。いろいろC教室とか使い回しもされたりとか、工夫されているというのを聞いてよく分かりました。

野々村委員 私も 27 ページの今放課後児童対策事業で、エアコンについて使い回しは非常に経済性を考えた対応をしていただいて評価できると思います。今年度、非

常に高温であったということと、対象の児童数が増えているということで、ほかの児童クラブ等においても同様にエアコンが効きにくいというようなお話を聞くことがありますので、特に今年の7月が特に管理されてる人も大変だったと聞きますので、今年のことをまた参考に、今後発注の方法についても、こども未来部から御説明していただいたような形で、今年度の状況を調査していただいて来年度も必要であるならば、対応を検討していただきたいと思います。

向井座長 26 ページの次世代育成支援対策事業について、先日の行政事務事業評価でも審査させていただいたこの待機児童対策の遠距離通所補助金の件なんですが、予定よりも多くなりそうということで、市外への通所も支援するというような事例のことを聞かせていただいたんですが今年度の傾向いかがでしょうか。また、今回どれぐらいの方を見込んでおられますか。

こども未来部 令和8年度は現在5人の方に交付を決定しております。その方々は、全て市外の園に入所されております。受入れの市内の保育園、こども園の状況なんですけども、今現在、0歳児から3歳児クラスまでの受入れがほぼ受入れ定員に達しておりまして、今、実際に、受入れできますのが、3歳児のたき認定こども園、城東保育園の2歳児が1名程度ということで、それ以外のところは全て入所ができない状況になっております。

こども未来部 今後の見込みの38万8000円ですが、過去3年の途中入園による申請者の実績に基づいて、過去の平均実績は5件ということで、5件の申請があると見込みまして補正予算で計上させていただきました。

安井委員 44 ページの幼稚園管理費で耐火金庫の購入について、他の同じような施設には全部耐火金庫があるということですか。今まで統合する前の園には耐火金庫はなかったのですか。

こども未来部 耐火金庫でございますが、現在、篠山幼稚園、たまみず幼稚園、岡野幼稚園で使用しております耐火金庫につきましては、それぞれ隣接の小学校の耐火金庫に書類を一緒に入れてあります。今後、3園が統合しますので、例えば20年保存というような長期保存の書類等もございまして、現在の校長室の小学校の耐火金庫には入らないものですので新たに購入しようとするものです。

安井委員 小学校と隣接しているところは小学校に入れてもらう。小学校と隣接してな

いところは、個別に持っているというふうに理解してよろしいか。

こども未来部 小学校隣接以外の認定こども園につきましては、建設時に購入をしております。今回仮称城東認定こども園の補正でも追加購入ということで備品の中に入っています。

隅田委員 29 ページの城東認定こども園の備品購入費が、単純に見ると 1783 万で大きいように思いますが、これは主にこういったふうな備品を購入される予定なんでしょうか。

こども未来部 金額的に大きいものについて御説明をさせていただきたいと思います。例えば園児用の収納ロッカーでございますが、これは現行のロッカーがつくり付けになっているものですから、現行分を流用することができないために、新たに購入しようというものでございます。また、建築に際して作り付けにすると今後の取り替えとかいうことができませんので備品として購入しようとしているものでございます。それから靴箱についても、同様の考え方で購入をしようとしています。それから大きいものとしては、組立て式のプールを各園で利用しておりますが、現在の城東保育園のプールについてはかなり老朽化が進んでおりますので、これについても再利用ができないと判断いたしまして、新たに購入をしようとしているものです。それから職員用の事務用机等も、これまでから使ってきたものがかなり古く、再利用というのは困難との判断をいたしましたのでこういう机や椅子等の事務用のものについても購入しようとしております。

野々村委員 29 ページの教育、保育備品ですが、これらは基本的には当初予算に計上すべきものではないかと思いますがなぜ 9 月になったのかの説明を求めます。

こども未来部 これらの備品について当初予算の要求時におきまして、積算は進めていしましたが、現行で利用できるものを最大限活用するという観点から、春休みから夏休みにかけて、現在の幼稚園や保育園で利用しているもので状態のよいもの、使えそうなものについて、使っていくということでさらに選定を進めてきました。

もう一つは、なるべく有利な財源というところもないかということを探してまいりまして、今回、この過疎債のほうを活用させていただくというところで、この辺りを総合的に勘案して現在の 9 月の補正でお願いするというような状況になりました。

野々村委員	既存のものを有効利用しようということと、財源確保というのは理解できる ところでは。過疎債も本会議で、過疎債がこれは充当できるというような御説 明を受けたところですが、もう一度ちょっと教えていただきたいんですが、過 疎債の充当率と交付税算入率を教えてくださいませんか。
こども未来部	城東こども園整備事業の備品購入費の財源となる過疎対策事業債の充当率 について充当率は100%、交付金算入率は70%です。
野々村委員	28ページの認定こども園費の味間認定こども園費で、会計年度任用職員給 料585万4000円の減額。たき認定こども園で325万円減額と出ております。 それに対してこんだ認定こども園で、任用職員が462万5000円増額となっ てますが、これ人数の増減に関わるものであるとしたならば、味間認定こども園 で会計年度職員が何人減になったのか。たき認定こども園で何人減になったの か、こんだ認定こども園で何人増になったのか、その辺の人数の増減を教えお 示してください。
こども未来部	こんだ認定こども園につきましては、フルタイムが1名欠員ですが、人数の 増減としましては、パートタイムが2名増えております。たき認定こども園は 増減はありませんがパートタイムで欠員が出ております。味間認定こども園に につきましてはパートが2名増え、一方でフルタイムが1名減ということになっ ております。
野々村委員	その説明で結構です大まかな理由は分かりました。御説明あったように、募 集をしても、採用枠が埋まっていないということ、昨年の会計年度職員の人数 を減らすというときに、やはりそういうようなことへの影響というようなこと が予想されるのではないかと、安定した職場にならないので、なかなか募集 に対して応募していただける方がないんじゃないかということをお慮りしてお りましたので、人事の件については、できるだけ慎重に取り計らっていただき ますようお願いいたします。
安井委員	25ページの下の方に児童福祉一般事務費について、この施設利用の人数 が10人から増えたからということですがもう少し詳しく教えてくださいんか。
こども未来部	こちらの児童福祉一般事務費に計上させていただいております。10人から 15人の増につきましてですが、まず10人というところが、当初予算時点の去

年度の時点の実績で10人ということで計上させていただいておりまして、今年度に入りまして、就労意思の高まりとかいろいろ背景があるかと思いますが、認可外施設に行く人が増えて申請がその分多く上がってきたということで、今回5名増ということになっておりますので、増額のほうをお願いしております。

■議員協議

議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば発言をお願いします。

— 部長、市長等への質問等なし —

■意向確認

日程第1 議案第84号 令和8年度丹波篠山市一般会計補正予算（第3号）

—— 修正・反対等の意見なし ——

向井座長 この結果と、本日の執行部との質疑応答及び議員共有を含めた形で、分科会の座長報告を行いたい。報告については座長に一任いただきたい。

—— 異議なし ——

向井座長 また会議録等については事務局に調整させ正副座長において内容確認を行いたい。

—— 異議なし ——

大内副座長 挨拶

向井座長 散会宣告

16:50 散会